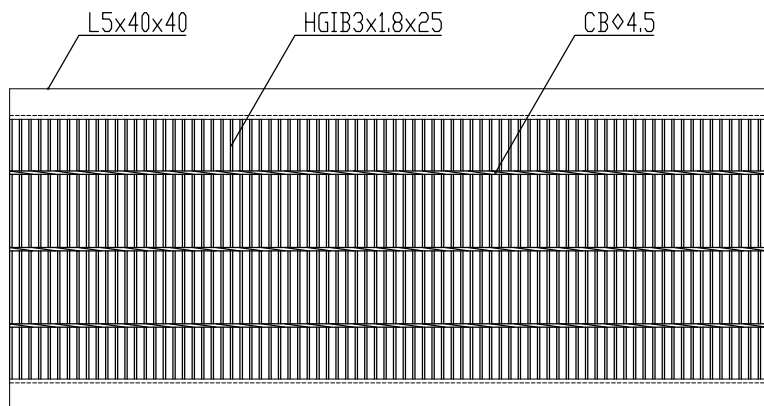
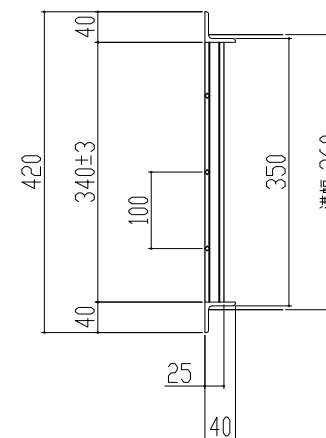
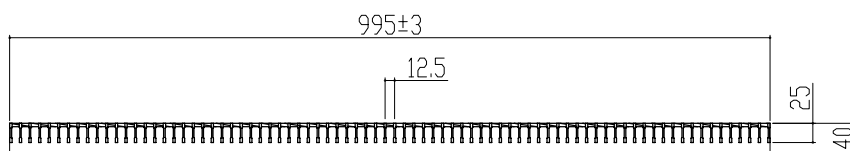
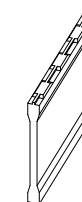




← 車輛進行方向(側溝) →



重量 19.3kg



主部材詳細図

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図	図面名称	U字溝用(ハイテン) グレーチング 溝幅360用 細目 ノンスリップ T-2 LNHU253-36	図番	株式会社 マキテック MK駐輪事業部 MGK-L-486
標準製作図面						平元	山口	松本				
試作図面												
特注図面						材質	数量	箱尺				
検討図面						主部材 SS540						

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品 名	LNHU253-36
	製品寸法	340x995x25
	主部材	I - 3 × 1.8 × 25
	断面係数	Z = 0.301 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 360
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より $\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 32000$ $\omega = 3.13$ (N/mm)			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times 0.5 \times b \times (L - 0.5 \times b) / 2$ より $M = 3.13 \times 0.5 \times 160 \times (360 - 0.5 \times 160) / 2$ $M = 35,056$ (N・mm)			
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。 $\sigma_b = M / Z$ より $\sigma_b = 35,056.0 / 301.000$ $\sigma_b = 116.47$ (N/mm²) 従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、 <u>116.47 (N/mm²) $\leq$ 320 (N/mm²)</u>			

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--